



令和5年2月

令和5年度当初予算の概要

	ページ
1 令和5年度当初予算の概要	1
2 令和5年度当初予算総括表	8
3 令和4年度2月補正予算総括表	9

神奈川県川崎競馬組合

令和5年度当初予算の概要

～全日本的なダート競走の体系整備に伴う重賞競走の実施時期の変更や新設、賞金の拡充とともに、強い馬づくりを推進し、川崎競馬の更なる発展を目指す～

I 予算編成の基本的な考え方

令和5年度当初予算は、川崎競馬経営計画に掲げる施策の着実な実施により収益を確保し、地方財政への貢献と安定的な運営の基盤づくりを推進する予算を編成した。

II 予算額及び売上金等

1 予算額

(単位：億円、%)

	令和5年度 当初予算額 A	令和4年度				対前年度比較	
		当初 予算額 B	11月補正 予算額 C	2月補正 予算額 D	2月現計 予算額 E (B+C+D)	A/B	A/E
一般会計	1,056.4	1,008.2	156.2	9.9	1,174.4	104.8	90.0

2 売上金等の規模

(単位：億円、%)

区分	令和5年度 当初予算額 A	令和4年度				対前年度比較		
		当初 予算額 B	11月補正 予算額 C	2月補正 予算額 D	2月現計 予算額 E (B+C+D)	A/B	A/E	
川崎競馬開催	970.0	920.0	150.0	-	1,070.0	105.4	90.7	
地方競馬 受託場外 発売	南関東 他3場発売	31.4	51.3	-	▲15.4	35.9	61.2	87.5
	他地区発売	579.0	431.1	-	103.8	534.9	134.3	108.2
JRA受託発売	68.0	72.4	-	▲3.2	69.3	93.9	98.1	

(注) 金額は一千万円未満切捨てのため、合計は符合しない。

III 競馬開催等の状況

1 実施方針

新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底した上で、開催・発売を行う。

川崎競馬開催	<ul style="list-style-type: none"> ・正月開催を実施する。(平成18年度以降18年連続) ・全13回の開催を行う。(前年度比増減なし) ・原則として、月曜日から金曜日までの5日間開催とし、売上が最も見込める水曜日に重賞競走を実施する。 ・JRAとの競合開催を2日間実施する。(前年度比増減なし)
地方競馬受託場外発売	<ul style="list-style-type: none"> ・南関東他3場(大井、船橋、浦和)の開催のうち月曜日、土曜日及び日曜日(重賞日を除く)を除く全日程を発売する。 ・併せて、南関東他3場以外の競馬場のレースもできる限り発売する。
JRA受託発売	<ul style="list-style-type: none"> ・代替開催日を除き、JRAの全日程を発売する。

2 開催日数等

区 分		令和5年度	令和4年度
川崎競馬 開催	開催回数	13回 (10回)	13回 (10回)
	開催日数	63日 (49日)	64日 (49日)
南関東他3場発売		168日 (103日)	216日 (140日)
地方競馬 計		231日 (152日)	280日 (189日)
JRA受託発売		108日 (—)	107日 (—)
合 計		339日 (152日)	387日 (189日)

(注) () はナイト開催分を内数で示す。

3 川崎競馬の競走体系（令和5年度競走計画）

全日本的なダート競走の体系整備に併せて、川崎競馬のダートグレード競走（以下「DG競走」という。）の実施時期の変更や重賞競走の新設、賞金等を拡充するとともに、川崎競馬の競走体系を整備することで、強い馬づくりを推進する。併せて、新馬戦の賞金を増額することにより、新馬のいきゅう促進を図る。

(1) 「川崎記念」、「エンプレス杯」競走の実施時期の変更

DG競走の体系整備に伴い、「川崎記念」は令和6年4月へ、「エンプレス杯」は令和6年5月へそれぞれのカテゴリー（古馬中長距離、古馬牝馬中長距離）の頂点競走として、実施時期を変更する（DG競走再編移行期である令和5年度には実施しない）。

(2) 重賞の新設（若武者賞、神奈川記念、ネクストスター東日本）

○ 若武者賞（SⅢ）

準重賞として9月に実施している若武者賞（鎌倉記念トライアル競走。以下「トライアル競走」を「TR」という。）を、2歳馬競走体系の強化の一環として、重賞競走として新設する。これにより、若武者賞（SⅢ）から鎌倉記念（SⅡ）を経て全日本2歳優駿（JpnⅠ）を目指す川崎競馬の競走体系を整備する。

○ 神奈川記念（JRA・地方交流記念重賞）

競馬法に基づく神奈川県競馬開催100周年記念競走として、JRA・地方交流重賞として神奈川記念競走を実施し、12月に行われる全日本2歳優駿とともに、年末の重賞戦線を盛り上げる。

○ ネクストスター東日本（SⅢ）

DG競走の体系整備の中で次世代の短距離適性馬の競走を整備する目的でネクストスター東日本競走を新設する。実施に当たっては、川崎、浦和、船橋の持回りで実施することとしており、令和5年度では川崎で初めて実施する。

(3) 若武者賞TRの新設（初陣賞）

○ 初陣賞（若武者賞TR）

新設される若武者賞（鎌倉記念TR）へ向かう競走として、8月に初陣賞を実施し、早期に2歳馬に重賞競走の挑戦のチャンスを広げ、有力馬獲得を促進する。

IV 令和5年度当初予算の重点的な取組み（凡例 ⑨：新規事業）

1 売上の確保に向けた取組み

(1) 強い馬づくりと魅力ある競走を実施するための賞金等の充実

- 賞金及び諸手当の充実 54億 735万円（対前年度比4億8,636万円増）
全日本的なダート競走の体系整備に併せて、重賞競走を新設、一部の競走における賞金を増額する。

⑨・重賞の新設

対象レース	1着賞金額 (対前年度比)	総賞金額 (対前年度比)
若武者賞（SⅢ）	1,200万円 (700万円増)	2,040万円 (1,140万円増)
神奈川記念（JRA・地方 交流記念重賞）	2,000万円 (皆増)	3,400万円 (皆増)
ネクストスター東日本 （SⅢ）	1,500万円 (皆増)	2,550万円 (皆増)

⑨・若武者賞TRの新設

対象レース	1着賞金額 (対前年度比)	総賞金額 (対前年度比)
初陣賞（若武者賞TR）	500万円 (皆増)	900万円 (皆増)

一部⑨・新馬競走賞金の増額

新馬戦における賞金面での優位性を明確にし、川崎競馬への新馬の入きゅうを促進するため、新馬戦競走の賞金を増額するとともに、新たに3歳新馬戦を新設する。

対象レース（新馬）	1着賞金額 (対前年度比)	総賞金額 (対前年度比)
2歳新馬（4月から8月）	370万円 (100万円増)	1億7,841万円 (5,016万円増)
2歳新馬（9月から12月）	320万円 (50万円増)	
3歳新馬（1月）	270万円 (皆増)	

- ・2歳・3歳競走の賞金額の増額 6億7,868万円

2歳・3歳競走の充実を図り、有力馬が獲得賞金で優位に立ち重賞戦線に挑戦しやすくするため、2歳・3歳の早期（1月から6月）の競走の賞金額を増額する。

・ C級シリーズ競走「川崎ジャンプアップシリーズ」の新設 2億9,754万円
最下級であるC級競走馬を上位格に昇格させるため、有力馬が獲得賞金額の高い特別競走に挑戦できるようシリーズ化する。

・ 自場付加賞金の拡充 4億7,731万円
川崎競馬へのいきゅう促進と出走意欲向上のため、これまでC級のみであった自場付加賞金を拡充する。

・ 奨励金の増額（調教師、調教師補佐、騎手、きゅう務員） 3億9,348万円
きゅう舎関係者の調教環境の改善を図り、強い馬づくりを推進するため、増額する。

・ DG競走優先出走馬出走奨励金の増額（馬主） 2,000万円
全日本2歳優駿への有力馬の出走を促進するため、増額する。

○ 川崎競馬の魅力向上に向けた取組み

6億6,680万円（対前年度比3,350万円減）

川崎競馬の魅力を高めるため、強い馬づくりに向けた施策として、川崎在きゅう馬の頭数確保に向けた取組みを積極的に実施する。

一部(新)・きゅう務員の確保に向けた取組み 1億1,252万円

競走馬の世話、調教等を担当し、強い馬づくりを担うきゅう務員を確保するため、調教師が負担するきゅう務員の社会保険料の一部負担やボーナスの支給額を補助する。

また、きゅう務員の増加を促進するため、きゅう舎地区外の賃貸物件に居住する者に対する住居手当に対して補助するとともに、新たに一定条件のもと賃貸物件へ転居が必要となった場合にその転居費用の一部を補助する。

一部(新)・馬主協会奨励馬事業費補助 3億5,000万円

川崎競馬に出走させる2歳馬を購入する馬主に対し、神奈川県馬主協会の支援事業に対する補助を拡充する。また、新たに早期の優良馬の確保に資するため、能力試験後に一時金を支給する。

・ 川崎競馬所属騎手騎乗機会向上対策事業 2億 428万円

川崎競馬所属騎手の騎乗機会の向上を図るため、川崎在きゅう馬に川崎競馬所属騎手を騎乗させ出走した馬主及び調教師、きゅう務員に対して出走奨励金を支給する。併せて、減量騎手（新人騎手）の騎乗機会の向上による技術の研鑽を図るため、3kg以上の減量騎手を騎乗させ出走した馬主、調教師及びきゅう務員に出走奨励金を付加支給する。

- 施設や設備の整備 11億9,622万円（対前年度比1億7,228万円減）
競馬事業の安定的な運営のため、小向きゅう舎防水対策や競馬場等の設備更新に取り組む。

- ・小向きゅう舎防水対策（第2期）

小向きゅう舎の防水対策を講じるため、きゅう舎管理棟から西門までの外壁について、防水機能を備えた外壁等を整備する。

- ⑨・入場ゲートの更新

指定券予約の読み取り機能を付与した入場料を徴収する入場ゲートに更新する。

- ⑨・熱中症対策の整備

アニマルウェルフェアの観点から夏季開催時の馬の熱中症を予防するため、装鞍所に日除け、パドックにミスト噴霧装置を設置する。

(2) 広報・ファンサービスの充実

- 戦略的な広報の展開及び魅力あるファンサービスの実施

10億2,029万円（対前年度比3,964万円増）

新たなファンを獲得するため、魅力的な来場者向けのファンサービスを実施する。

また、売上の増加を図るため、全国の競馬ファンに向けてのインターネットによる広報及びファンサービスの充実を図る。

- ⑨・写真家による競馬場でのフォトツアーの実施

- 一部⑨・ミニチュアホース等とのふれあいイベントの実施

- ・川崎競馬のプロモーション動画制作

- ・競馬情報サイト及びSNSを活用した広告掲出・情報発信

- ・動画配信サイトを活用した競馬トークライブ配信の回数増（全開催日で配信）

- ・在宅投票の利用増を目的とした効果的なポイントキャンペーンの実施

- ・オリジナルファングッズのネット販売

- ・ファンエリア及びゴール板等の装飾の充実

- ・バックヤードツアーの実施

2 畜産の振興及び地方財政への寄与

(1) 畜産振興事業（地方競馬全国協会交付金）

10億1,850万円

全国的な馬の改良増殖推進事業をはじめ各種の畜産振興事業に資するため、競馬法に基づき川崎競馬各開催の売得金の一定割合を地方競馬全国協会へ交付する。

(2) 神奈川県畜産会補助金

420万円

県内畜産の振興に寄与するため、神奈川県畜産会の畜産品普及啓発事業等に対して補助するとともに、同会と連携し畜産関連品をファンサービスとして提供する。

(3) 構成団体への収益配分金

地方財政に寄与するため、神奈川県と川崎市に収益配分金を繰り出す。令和4年度は、当初予算21億円から36億円に増額する。

○ 構成団体繰出金

- ・ 令和4年度分 36億円（令和4年度当初予算21億円、令和4年度2月補正予算15億円）
（当初予算と合わせて神奈川県24億円、川崎市12億円）
- ・ 令和5年度分 21億円（令和5年度当初予算計上分）
（神奈川県14億円、川崎市7億円）

3 公正で安全な競馬の着実な実施に向けた取組み

○ 小向きゅう舎地区における対策

1億4,473万円（対前年度比254万円減）

きゅう舎地区における公正確保・事故防止対策や禁止薬物陽性馬の発生防止対策を徹底するため、警備員や監視カメラによる常駐警備等を行う。

○ 薬物検査対策

5,083万円（対前年度比3,406万円増）

検査機関の国際標準化に伴う検査対象薬物の大幅増加に対応するため、薬物検査費を増額する。

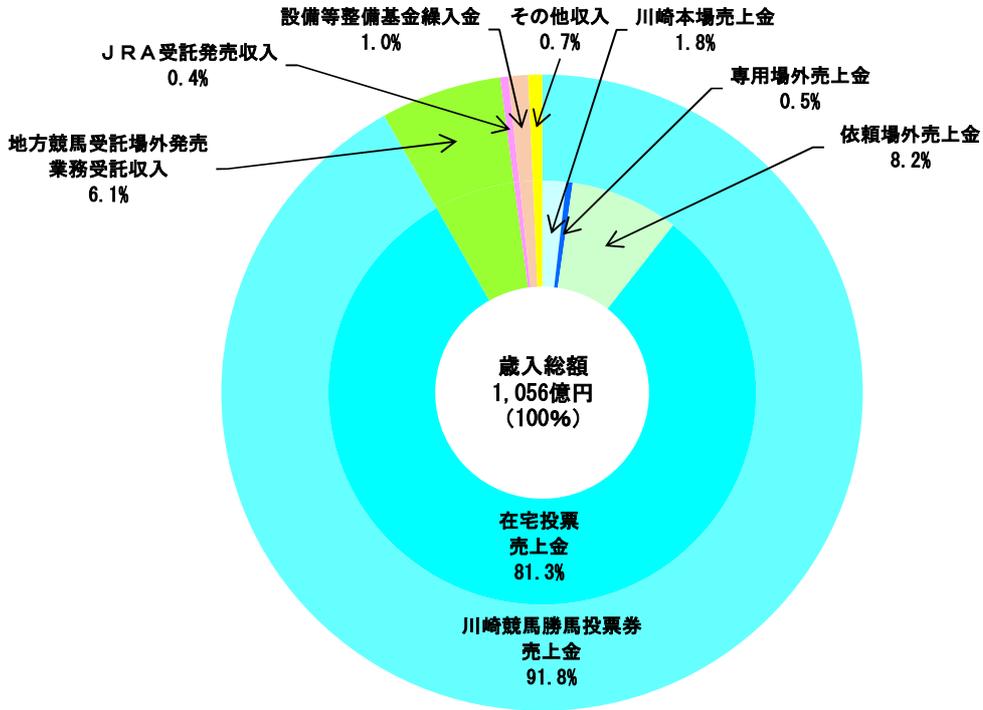
4 経営の安定化・効率化に向けた取組み

将来の施設整備のため、施設整備基金に積み立てる。

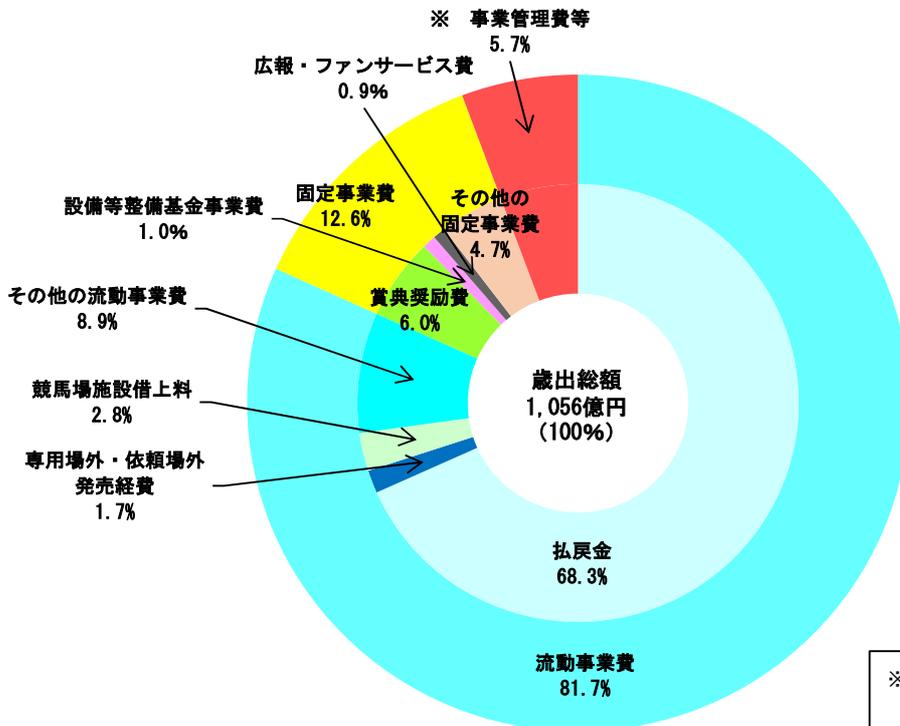
- ・ 令和4年度 60億円（令和4年度当初予算30億円、令和4年度2月補正予算30億円）
- ・ 令和5年度 25億円（令和5年度当初予算計上分）

(参考) 令和5年度当初予算 歳入・歳出の内訳

【歳入】



【歳出】



※ 事業管理費等 内訳	
事業管理費等	0.8%
施設整備基金積立金	2.4%
構成団体繰出金	2.0%
災害復旧費	0.2%
予備費	0.3%
計	5.7%

令和5年度当初予算総括表

【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A-B	A/B
川崎競馬勝馬投票券売上金	97,000,000	<100.0> 91.8	92,000,000	<100.0> 91.3	5,000,000	105.4
川崎本場売上金	1,940,000	<2.0> 1.8	968,000	<1.1> 1.0	972,000	200.4
専用場外売上金	485,000	<0.5> 0.5	745,000	<0.8> 0.7	△260,000	65.1
依頼場外売上金	8,633,000	<8.9> 8.2	8,098,000	<8.8> 8.0	535,000	106.6
在宅投票売上金	85,942,000	<88.6> 81.3	82,189,000	<89.3> 81.5	3,753,000	104.6
地方競馬受託場外発売 業務受託収入	(61,035,100) 6,417,132		(48,244,400) 6,245,369		(12,790,700) 171,763	(126.5) 102.8
JRA受託発売収入	(6,804,000) 389,054		(7,242,000) 423,584		(△438,000) △34,530	(94.0) 91.8
設備等整備基金繰入金	1,078,531	1.0	1,342,205	1.3	△263,674	80.4
その他収入	755,283	0.7	817,842	0.8	△62,559	92.4
計	105,640,000	100.0	100,829,000	100.0	4,811,000	104.8

(注1) < >内は川崎競馬勝馬投票券売上金の構成比を示す。(注2) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	令和5年度		令和4年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A-B	A/B
流動事業費	86,346,134	81.7	81,961,407	81.3	4,384,727	105.3
払戻金	72,174,000	68.3	68,510,000	67.9	3,664,000	105.3
地方競馬全国協会交付金	1,381,850	1.3	1,278,250	1.3	103,600	108.1
地方公共団体金融機構 納付金	970,000	0.9	890,000	0.9	80,000	109.0
専用場外発売費	317,366	0.3	462,509	0.5	△145,143	68.6
依頼場外発売費	1,438,178	1.4	1,357,546	1.3	80,632	105.9
競馬場施設借上料	2,980,001	2.8	2,856,834	2.8	123,167	104.3
その他の流動事業費	7,084,739	6.7	6,606,268	6.6	478,471	107.2
固定事業費	13,271,680	12.6	12,393,920	12.3	877,760	107.1
競馬場施設管理費	601,745	0.6	574,930	0.6	26,815	104.7
賞典奨励費	6,290,328	6.0	5,830,301	5.8	460,027	107.9
広報・ファンサービス費	1,003,567	0.9	980,657	1.0	22,910	102.3
地方競馬受託場外発売 運営費	275,930	0.3	312,463	0.3	△36,533	88.3
JRA受託発売費	278,057	0.3	249,286	0.2	28,771	111.5
設備等整備基金事業費	1,078,531	1.0	1,342,205	1.3	△263,674	80.4
その他の固定事業費	3,743,522	3.5	3,104,078	3.1	639,444	120.6
事業管理費等	871,720	0.8	823,252	0.8	48,468	105.9
設備等整備基金積立金	219	0.0	270	0.0	△51	81.1
経営安定化基金積立金	66	0.0	61	0.0	5	108.2
施設整備基金積立金	2,500,181	2.4	3,000,090	3.0	△499,909	83.3
構成団体繰出金	2,100,000	2.0	2,100,000	2.1	-	100.0
災害復旧費	250,000	0.2	250,000	0.2	-	100.0
予備費	300,000	0.3	300,000	0.3	-	100.0
計	105,640,000	100.0	100,829,000	100.0	4,811,000	104.8

令和4年度2月補正予算総括表

【歳入】

(単位:千円)

区 分	現計予算額A	2月補正予算額B	2月現計予算額A+B
川崎競馬勝馬投票券売上金	107,000,000	-	107,000,000
川崎本場売上金	1,926,000	350,000	2,276,000
専用場外売上金	535,000	38,000	573,000
依頼場外売上金	9,737,000	△63,000	9,674,000
在宅投票売上金	94,802,000	△325,000	94,477,000
地方競馬受託場外発売 業務受託収入	(48,244,400) 7,370,790	(8,833,600) △220,617	(57,078,000) 7,150,173
JRA受託発売収入	(7,242,000) 423,584	(△316,000) △26,617	(6,926,000) 396,967
設備等整備基金繰入金	838,955	△280,251	558,704
前年度からの繰越金	-	1,844,516	1,844,516
その他収入	817,842	△326,326	491,516
計	116,451,171	990,705	117,441,876

(注) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	予算現計額A	2月補正予算額B	2月現計予算額A+B
流動事業費	95,051,418	250,455	95,301,873
払戻金	79,715,000	-	79,715,000
地方競馬全国協会交付金	1,488,250	-	1,488,250
地方公共団体金融機構 納付金	890,000	-	890,000
専用場外発売費	462,509	-	462,509
依頼場外発売費	1,862,533	-	1,862,533
競馬場施設借上料	2,953,605	277,446	3,231,051
その他の流動事業費	7,679,521	△26,991	7,652,530
固定事業費	11,915,368	△495,015	11,420,353
競馬場施設管理費	574,930	-	574,930
賞典奨励費	5,830,301	△147	5,830,154
広報・ファンサービス費	980,657	△15,157	965,500
地方競馬受託場外発売 運営費	312,463	-	312,463
JRA受託発売費	249,286	△5,488	243,798
設備等整備基金事業費	838,955	△280,251	558,704
その他の固定事業費	3,128,776	△193,972	2,934,804
事業管理費等	823,252	△14,735	808,517
設備等整備基金積立金	270	-	270
経営安定化基金積立金	61	-	61
施設整備基金積立金	3,000,090	3,000,000	6,000,090
構成団体繰出金	2,100,000	1,500,000	3,600,000
災害復旧費	250,000	△250,000	-
予備費	3,310,712	△3,000,000	310,712
計	116,451,171	990,705	117,441,876